



三沢さとし県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

南房総地域の中心都市、館山市選出の三沢智(みさわ・さとし)県議は、新年度予算案を主な議案とする2月定例県議会の一般質問に登壇し、昨年の台風15号及び19号の被害から、復旧・復興に向けて公費解体制度の積極的な活用を提言しました。

公費解体制度は、環境省の補助金を活用して災害からの復旧・復興を図るもので、災害廃棄物の処理に寄与する制度として期待されています。また、三沢県議は南房総地域が連携した広域での観光振興や、建設業の深刻な状況から、公共事業の実施に際して年間を通して工事を発注する平準化について提案しました。その他の質疑と合わせて特集しました。

2月議会一般質問に登壇



2月議会の本会議場に立つ三沢県議

台風の被害家屋で 公費解体制度の活用を！

三沢議員 昨年の台風15号及び19号では、全壊家屋に加え、半壊家屋についても、特例的に補助金の対象となったものと聞いています。この公費解体制度は、「早期の復旧復興のために大変有効であり、この災害で被害が生じた多くの市町村が、本制度を活用して復旧を進めていくことが必要だと考えます。

そこで質問します。県内における公費解体、費用償還を行う市町村数はどうか。また、県では市町村をどのように支援しているのか。

環境生活部長 環境省の補助金を活用して公費解体または費用償還を行う見込みの市町村数は、館山市や

南房総市など33団体です。県では、市町村の公費解体に係る事務がスムーズに進むよう、制度に関する説明会を開催するとともに、災害時の協定を締結している千葉県解体工事業協同組合から助言を得ながら、市町村へ情報提供を行っています。

また、市町村の要請に応じ、職員を派遣し、補助申請の受け付け等の業務を行っています。今後も、計画の処理目標である令和3

広域連携で観光振興

三沢議員 観光地域づくり育成支援事業において、現在、どのような取り組みが進んでいるのか。

森田知事 観光地域づくり育成支援事業は、市町村等が行う地域資源を活用した観光コンテンツの開発などに対して支援するものであり、今年度は1月末時点で6事業に対し交付を決定したところです。

特に、広域連携による取り組みは、より大きな効果が期待できることから、補助限度額を引き上げて支援しており、例えば、南房総

年3月末までに、公費解体を含む災害廃棄物処理が完了できるよう、市町村等の意見を聞きながら支援を行ってまいります。

要望 半壊の住宅を解体した場合、国の被災者生活再建支援制度により、最大で300万円の支援金が支給されます。しかしながら、この制度は解体が終わった後でなければ申請することができず、かつ、災害があった日から13カ月という申請期間が設けられています。

解体作業がなかなか進まない中、被災された方々の不安を少しでも軽減できるように、申請期間の延長に向けた手続きを、できる限り速やかに進めていただくよう要望します。

商店街空き店舗の活用

三沢議員 商店街が空き店舗活用のひとつとして行うリノベーションの取り組みに対して、県はどのような支援を行っているのか。

商工労働部長 県では、商店街や商工団体が空き店舗を活用した取り組みを行う場合、地域商業活性化事業等により、積極的に支援することとしています。

具体的には、商店街が空き店舗をテナシヨップやコミュニティ施設として活用するためのリノベーションを行う際、その費用に対する補助を行うことに加え、企画段階においても中小企業診断士等のコーディネーターを派遣し、専門的なアドバイスを行っています。

電気柵の復旧に補助

三沢議員 昨年の台風で被災した防護柵に対し、県はどのような対策を講じるのか。

農林水産部長 昨年の台風15号等により、県内9市町で約6キロの有害鳥獣対策の電気柵が断線、金網柵の破損等の被害が報告されています。

このため、有害鳥獣による被害が拡大する恐れがあることから、被災した柵の復旧が早急に進むよう、県では柵の再整備に要する資材費に対し、補助を行うこととしています。

また、柵の復旧に当たり、妨げになっている倒木の撤去に要する費用についても補助を行っています。

避難所運営に配慮を

三沢議員 昨年の一連の災害を踏まえ、要配慮者や女性に配慮した避難所運営について、県はどう取り組んでいくのか。

森田知事 県では、要配慮者に対する巡回、健康相談などの医療的な支援や、更衣室やトイレ、洗濯物等に関する女性への配慮などについて、避難所運営の手引きにより、市町村に促してきました。

今回の災害では、多くの

要望 今回の災害のようになつた場合は、指定した避難所が不足し、早急に避難所となる施設を探さなければなりません。県の施設や県立高校を早期に開放するよう要望します。

公共事業の平準化へ 深刻な業界実情を訴え!



発言を求めて挙手する三沢県議

ゼロ債の活用を

三沢議員 地域の守り手として重要な建設業者の方々の経営状況は、依然として厳しいのが現状です。現場の急速な高齢化と若者離れが深刻化する中、将来の担い手確保のため長時間労働の是正や、処遇改善などを促進することが急務になっています。そこで、公共事業の施工時期の平準化をさらに推進すべきと考えますが、県土整備部では具体的にどのような取り組みを行っているのか。

要望 建設業者の方々の経営安定化や担い手の処遇改善など、建設業の更なる発展には施工時期の平準化が大変重要であり、今後もゼロ債をさらに増額するなど、積極的な取り組みを要望します。

災害時の消防団活動

三沢議員 令和元年の台風15号などで、県内各地の消防団ではどのような活動をしたのか。

防災危機管理部長 台風15号をはじめとする連日の災害においては、多くの消防団員が通常行っている警戒活動のほか、地元市町村や県警機関と連携し、避難誘導、停電地域における広報活動や安否確認など、地域の被災状況に応じ、さまざまな活動を行っています。また、これらの活動に加

況の管理を行っている併せて、2カ年債やゼロ債の活用、速やかな繰越設定などにより、平準化の推進に取り組んでいます。特に、ゼロ債は昨年度の約47億円から大幅に増額し、今年度は約84億円を設定したところで

え、多くの倒木や長期間の停電があった地域では、チェーンソーを活用した倒木の撤去や給水支援などの活動が行われたほか、浸水被害の大きかった地域では、長時間にわたる排水作業を行うなど、地域住民の大きな助けとなりました。

三沢議員 災害時における消防団の活動について伺います。市民にとって、消防団は身近にいてくれる大変心強い存在です。今後も大規模な風水害や地震の発生が

懸念される中で、消防団の災害対応能力の充実強化をどのように支援していくのか。

防災危機管理部長 県では、新たに整備された消防学校において、消防団員を対象に狭隘空間における救出救助訓練を実施したほか、チェーンソーやAED等の救助資機材の使用について指導するなど、災害の多様化、大規模化に対応できる

消防団員の育成を行っています。また、災害時の活動に必要なとなる救助用資機材や安全装備品について、県の補助制度により市町村を支援するほか、排水ポンプや発電機などにも対象が拡大された国の補助制度の積極的な活用を促すことにより、消防団の災害対応能力の充実強化を支援してまいります。

海岸をはじめとする各海岸ではごみが漂着していることから、パトロールのほか、市町村や地域住民から寄せられた情報を基に、これらを回収してきました。



壇上から知事らに語り掛ける三沢県議

船形バイパスの状況

三沢議員 館山市を含む南房総地域の魅力をさらに高めていくためには、道路網の整備が必要であり、船形バイパスは市内の観光拠点を巡る重要な道路と考えており、大きな期待を寄せているところです。船形バイパスの状況はどうか。

県土整備部長 県道犬掛館山線の国道127号から館山市船形までの現道では、道路の幅員が狭く、屈曲していることから、安全で円滑な交通を確保するため、館山市と共同で1.6キロの船形バイパスを整備しています。

県が整備している南房総市域の0.5キロ区間については、順次、用地交渉を行ってきており、現在、用地取得率が約6割となっています。また、館山市が整備している館山市域の1.1キロは、用地取得率が約7割となっており、まとまった用地の確保ができたところから、道路改良工事を実施していると聞いています。

要望 地権者の協力を頂くには、行政と地権者との信頼関係をしっかりと築くことが重要です。地権者に丁寧な説明を行うよう要望します。

海岸漂着物の処分

三沢議員 昨年の台風により、館山市の海岸に漂着したごみの処分状況はどうか。

県土整備部長 昨年の台風15号、19号及び10月25日の大雨により、県南部の海岸では大量のごみが漂着したことから、県では、パトロールの結果等を基に、漂着ごみの回収・処分を行っています。その後も、館山市の那古

海岸をはじめとする各海岸ではごみが漂着していることから、パトロールのほか、市町村や地域住民から寄せられた情報を基に、これらを回収してきました。

回収したごみは、民間の処理施設で処分することとしておりますが、現在、一時的に海岸に仮置きし、処理施設が空くのを待っているところであり、年度末を目途に処分してまいります。

水産校舎跡

三沢議員 県立館山総合高校水産校舎跡のグラウンドを、地元自治体等が地域振興のために使用できないか。

澤川教育長 同水産校舎のグラウンドは、将来の船員として必要な消火訓練などの授業で、年間、数日程度使用していますが、他の日の放課後や週末などは、ほぼ毎日、館山市内の近隣の中学校が部活動で使用しています。地元から使用の申し出があれば、積極的に対応してまいります。

消防団の災害対応能力充実へ

その後も、館山市の那古

●館山市と県政に関するご要望をお寄せください。

三沢さとし 県議事務所

〒294-0037 館山市長須賀470-1
TEL0470-22-3051 FAX0470-22-3052